

## アルコール飲料



# 宮崎県 柳田酒造合名会社

## 『地域特産原料の焼酎を欧米東南アジアへ』

### 【主な品目】

本格焼酎

### 【主な輸出先国・地域】

アメリカ・イタリア・台湾・シンガポール・香港

### 【輸出取組の概要】

- ◆ 平成28年から3年連続、ニューヨークで宮崎県内酒蔵共同でプロモーションを実施。
- ◆ 平成29年のジェトロ五大陸食品バイヤー商談会に参加。
- ◆ 平成29年、30年に、ジェトロ新輸出大国コンソーシアム事業に参加。

### 【輸出実績】(2016年より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(L)	出荷時期
2018年	356	3,181	通年
2017年	82	818	
2016年	3	49	

### 【効果があった取組】

- ・海外向けの商品開発、パッケージ開発を行った。
- ・ホームページを五ヶ国語に対応した。

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・海外では焼酎の認知度が低く、蒸留酒としては度数も低いためハードルが高い。
- ・焼酎はアメリカではハードリカー扱いで、ソフトリカーに比べ制約が多い。
- ・輸出国によって容器サイズに基準があり、国内で使用している容器が使えない。

### 【生じた課題への対応】

- ・海外イベントで冊子やビデオ動画などを使い、飲み方を提案。
- ・販売条件が厳しい中で、欧米の好みに樽貯蔵した焼酎を新たに開発。
- ・汎用の容器を使用しつつ、特徴あるラベルとキャップで違いを演出。

### 【対応の結果】

- ・カクテルとしてではなく、日本の伝統的な飲み方を伝えられた。
- ・樽貯蔵した焼酎を開発したことによりアメリカへの輸出が実現。
- ・ニューヨークの高級蒸留酒専門店のアイテムに採用。

### 【今後の課題・展望】

- ・ウイスキーやウォッカに並ぶ世界の蒸留酒のひとつとして、認知度を向上。
- ・宮崎の原料にこだわり、地域色を生かした高級ブランドとして商品を輸出。
- ・世界中の蒸留酒ファンが訪日し、国内の焼酎蔵を訪れるように環境を整備。

【活用した支援・施策】 宮崎県産品海外輸出事業、日本商工会議所小規模事業者持続化補助金

【ウェブサイト】 <http://www.yanagita.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 柳田 正、TEL: 0986-25-3230



ニューヨークでの商談活動



県内蔵元と共同で試飲会  
(イタリア・ローマ)



海外向けに開発した商品